

白川文字学

ニュース

発行 H29.6

福井県教育委員会
生涯学習・文化財課

No3



「梅」の実が熟すころ長く続く雨を
「梅雨」といふ。

「福井梅」の特ちょうは、なんといっても実が厚くて、たねが小さいこと。これは梅干しや梅酒をつくる上で、とても都合がいい形なんだそうです。

梅の木は、中国原産で、日本には、奈良時代より前に伝わったといわれています。

中国では、梅を鑑賞する風習があり、日本の『万葉集』でも、梅の花をたたえる歌が多いようです。また、『百人一首』には、紀貫之の次のような作品があります。

人の心は、さあ、どう変わったか知らないが、
人はいさ心も知らず ふるさとは

花ぞ昔の 香にはひける

この「花」は、「梅の花」のことです。

今の日本では、桜の花見が盛んですが、昔は、桜の花より梅の花の香りが好まれたのです。

4年【梅】10画 うまい

梅の花



奈

8画 ナ・ダイ



篆文

中国の辞書によると、もとの字は、奈で果樹（くだものなる木）の名前だとある。「奈」は、「奈」の俗字（字の形がもとの字とは違うが、広く用いられている字）とされるが、果樹の名としては使われていない。

「奈」は、古くから「奈何」（なぜ・どうして）のように使われている。「奈」は、「奈」とはべつの字であるかもしれない。

（白川静『字通』『常用字解』より）

梨

11画 リ



篆文

稲などの穀物を表す「禾」と刀（リ）を組み合わせ、「禾」を刃物で切り取る意味の「利」に、木を組み合わせた形。中国では、魏の文帝（千八百年くらい前の王様）の詔（王様の言葉）「甘きこと蜜の若く、脆きこと凌（氷）の若し」という語がある。このように、「梨」の花や実は、中国で昔から文章に書かれている。それほど古くから人々に愛されつづけてきた木だといえる。

（白川静『字通』『字統』より）



梨の花

「白川文字学ニュース」では、新学習指導要領で新しく学習する20字の漢字を紹介しています。

茨 媛 岡 潟 岐 阜 熊 香 佐 崎 滋 縄 井 沖 枋 奈 梨 阪 鹿



梅の実

